

四月三十日まで  
第一期分  
今月の納税  
固定資産税

# 福生町広報

昭和35年4月20日 第7号

発行所 福生町役場

発行兼編集人 福生町役場課

印刷所 昭和印刷KK



## 福生駅前広場が完成

福生駅前広場の拡張は、すでに戦前から呼ばれており、懸案の都市計画事業でありましたが、去る昭和33年より2ヵ年継続事業として着手し、東京都の補助金ならびに中央商工会、業界関係者の多大な協力を得て、2月に着工し、この程完成をしたものであります。

この広場は総面積868平方米(236坪)で、両端には巾3メートルの歩道が設けられ、北側が駐車場、南側にバスの停留所が設けられます。

これによつて今まで混雑を極めていた駅前通りの交通が緩和され、商店街の発展に大きな期待がよせられます。

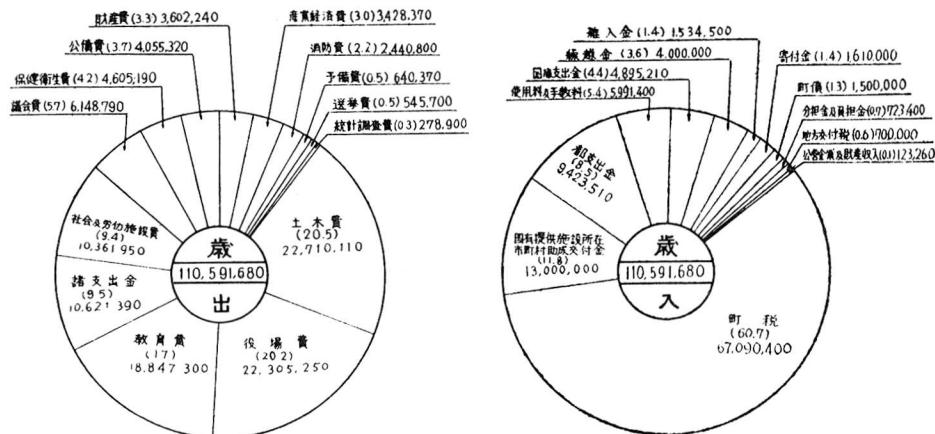
△季節を迎えて防火心得のキヤンペインの多い  
△山火事の警戒(五月中)この機会に農業を周知する  
△交通事故防止運動(五月中、東京で)  
△静かな街への協力が求められる。  
△春の看護週間(九日~十五日)十二日のナショナルデーの日をはさんで、一日の看護婦など白衣の天使をたたえる運動が行なわれる。  
△国民栄養調査(五月中)この時期における妊娠中の栄養と休養の必要性を周知する啓発が行なわれる。  
△交通安全運動(五月中)この機会に農業を周知する啓発が行なわれる。

5月の

## 広報ごよみ



## 昭和35年度福生町歳入歳出予算



## 一般会計人口一人当り額



## 昭和35年度 特別会計

## 歳 入

1,100 1,000 900 800 700 600 500 400 300 200 100 万円

使用料及手数料 15,306,900  
 委託工事収入 360,000  
 緑 入 金 1,600,000  
 緑 越 金 800,000  
 雑 収 入 112,500

保険料 6,164,000

国庫支出し金 4,046,500

緑 越 金 700,000

その他収入 513,100

負担収入 10,080,000  
 物品受取代金 285,000  
 緑 越 金 780,000  
 雑 収 入 20,000

使用料及手数料 5,765,900

緑 入 金 1,700,000

その他 収入 53,000

## 上水道事業

総額 18,179,400

## 歳 出

万円 100 200 300 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100

上木運賃 3,866,200  
 管 球 費 4,045,000  
 手賃工事費 7,408,100  
 公 債 費 2,650,100  
 隊 支 出 金 10,000  
 予 備 費 200,000

役場費 1178,742

國民健康保険  
総額 11,423,600

事務所費 622,640  
 公益負担事業  
総額 11,165,000

事業費 9,000,000  
 公債費 387,100  
 運転資金 緑越金 1,000,000  
 その他支出 155,260

## 畜 場 事 業

総額 7,518,900

事務所費 4,308,330  
 公債費 2,689,100  
 その他支出 521,470

昭和三十五年度の編成については懸案の事業は出来るだけ当初予算に組み込むよう努力した。補助金や起債の未決定のものは補正予算で追加いたしました。一般会計においては、公営住宅や河川改修（排水施設）が含まれている関係から前年当初に比較して二、二九四万円の増であります。

予算に計上した主なる事業について申述すれば、土木関係では従来の道路改修並に舗装工事の外首都圈構想に基く都市計画推進のため区画整理並に下水道事業の調査費を計上すると共に、玉川上水をぐる排水施設に七八三八万円を計上しております。教育費においては本年新に小学校の給食用燃料費を計上し、小学校にフルケ所（四〇〇万）設置するが、年次計画で遂次全校に設置するものであります。

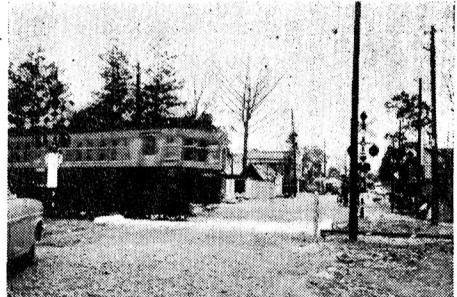
公営住宅は前年同様三〇棟を建設し、予算七八〇万円であります。保健衛生関係では、蚊と蝶をなくす衛生協力会の事業費を増額しております。産業経済費において、一〇〇万円程増額しましたが、これは農業振興事

業の推進と商工関係において、小口事業資金の貸出金を現行二〇〇万円から五〇〇万円に増額する等の関係未決定のものは補正予算で追加いたしました。一般会計においては、公営住宅や河川改修（排水施設）が含まれている関係から前年当初に比較して二、二九四万円の増であります。

財産費において役場分室として使用するための旧信用金庫の建物買収費用を計上してあります。その他諸支出金において高校勝利費三〇〇万円、町制施行二十周年記念事業費として六一万円があります。尚中学校増築は当初に計上出来なかつたが、追加予算で実施するものであります。上水道事業の当初は自己財源だけの予算で六〇〇万円程度の拡張工事費を計上しております。起債の決定期第追加予算をもつて計画事業を実施致しますが、夏季水不足を来さないよう第二浄水場の建設を急いでおります。本年度このように各種の事業を実施致しますが特に町将来の発展を期して首都圏市街地開発の基本的な都市計画の樹立と町造の具体化に専念する考え方でありますので、町民各位の御支援と御協力を御願い申上げる次第であります。

## 予算説明の要旨

福生町長 秋山誠一



## 熊川の踏切が完成

来通りから片倉工業前に通ずる都市計画街路は、五日市線の踏切が開通せず非常な不便を感じていました。が、こんどこれが開通し警報機も取付けられました。この道路は町を横断する重要な路線で、牛浜までは35年度中に舗装ができる予定です。

こんど、小口事業資金融資条例の一部が改正され、同時に今までの一部が五百円であつた融資のわくが五十万円となりました。貸付の要領はつぎのとおりです。

### 一、申込資格

1 町内に二年以上引き続き居住していること。

2 町議会議員の選挙権を有すること。

3 町内に事業所を有し、同一の場所で同一事業を引き続き一年以上いとなみ、払込資本金が五百円以下の法

5 確実な保証人が、融資の金額一口につき一人以上あること。

6 一定の職業を有し独立の生計を営んでいる世帯主であること。

7 町議会議員の選挙権を有すること。

4 町税年額五千円以上の納稅義務者であつて、既に納期の経過した分の町税を完納していること。

8 申込先福生町役場産業課

9 利率 日歩 三銭

10 申込先福生町役場産業課

11 申込先福生町役場産業課

12 申込先福生町役場産業課

13 申込先福生町役場産業課

14 申込先福生町役場産業課

15 申込先福生町役場産業課

16 申込先福生町役場産業課

17 申込先福生町役場産業課

18 申込先福生町役場産業課

19 申込先福生町役場産業課

20 申込先福生町役場産業課

21 申込先福生町役場産業課

22 申込先福生町役場産業課

23 申込先福生町役場産業課

24 申込先福生町役場産業課

25 申込先福生町役場産業課

26 申込先福生町役場産業課

27 申込先福生町役場産業課

28 申込先福生町役場産業課

29 申込先福生町役場産業課

30 申込先福生町役場産業課

31 申込先福生町役場産業課

32 申込先福生町役場産業課

33 申込先福生町役場産業課

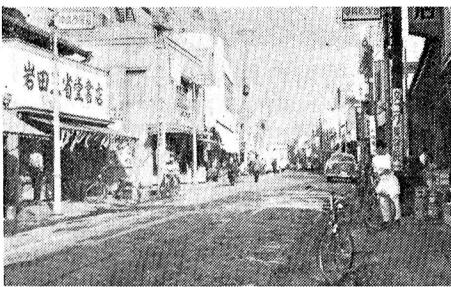
34 申込先福生町役場産業課



いま駅前通りは、店  
がまえも立派な商店が  
立ちならび中央商業会の街  
路灯も、ひとときわ賑やかさを  
増しております。

日曜、祭日などは、他町村  
からの出入りも多く、乗用車  
が、この通りの両側に並ぶさ  
まは、福生町ならではの感じ  
があります。

駅前通りは、昭和十四年前  
後に舗装され、そのち昭和  
二十四年に大きな改修工事が  
行なわれ、いまでは、バスも  
数本入り福生町の発展に大きく  
ことのできない重要な役割を  
もっています。



**(昔)** この駅前通りにも、と  
砂利道であったということです。  
そのうち青梅線が開通して  
からは五米ほどにひろげら  
れ、今では約九米の舗装道路  
ですが、むかしこのみちを荷  
車や荷馬車が通っていたと  
は、今では想像がつかないほ  
どです。

バスも昭和十年ごろにはす  
でに一本のり、いれておりまし  
たが、ほとんど利用する人も  
無く、からのバスが毎日か  
さず通つていたそうです。

## 解説

既に、皆様も御  
承知のことと存  
りますが、福生  
町も昭和三十四  
年度に、農業振  
興事業の予備地  
域の指定を受け、農業  
関連の事業計画も逐次推  
進して参りまして、昭和  
三十五年度には本指定が  
なされようとしておりま  
す。

この指定を受けますと、  
国から農業振興事業施設  
に対する助成があり、農  
家の経営安定の基礎とし  
て大きな進歩が期待され  
ております。

この総合対策は、昭和  
三十一年四月六日閣議決  
定により、農林省が農山  
漁民の自主的な総意に基  
く適地適産を基調とした  
農山村の振興に対する  
計画を立て、事業の実施  
を総合的に推進すること  
により、農林漁業経営の  
安定と農山漁民の生活水  
準の向上を図ることは、  
現下の急務であるとし、  
これが第一回、差当  
り二年一度を初年度と  
して概ね五ヶ年を目指  
して、新農村建設総合対  
策を打出したわけであり  
この新農村の建設につ  
いては、農林漁業上の条件  
その他の自然的、社会的、  
経済的の諸条件は共通す  
る農業振興事業の指定について

## 農業振興事業の指定について

農業振興を推進し、農家経  
営の改善並に農業振興協議  
会が設立され、農業振興の  
発展を図るため、昭和三十  
九年十一月十六日に福生  
町の改善についての合意  
見まとめるための合意  
書が交換されました。

この協議会は、農家の方  
との自主的な発意によ  
り、お互い話し合い、意  
見をまとめるための合意  
書が交換されました。

種目	補助率	備考
1.農地整備	3割以内	
2.共同作業施設	5割以内	
3.共同利用施設	/%	
4.共同修理加工施設	/%	
5.生活改善施設	/%	
6.共同畜舍	/%	
7.堆肥	/%	

水を一とたらしてみる。  
(1) ジュウと音がすると一  
〇度、アセテート、ナイロ  
ン、ビニロンのブラウス  
スカート。  
(2) チュツと音がすると一  
〇度位、綿、レーヨンの  
ラウス。  
(3) チシツと音がると二百  
度位、木綿のブラウス、ワ  
ンピース。

益々上がる  
私立の学費



といふ  
と  
し  
や  
板